（別記様式第 12 号）（第３の８関係）

（北アルプス地域）

令和７年度地域発元気づくり支援金事業 総括書

事業名	北アルプス山麓新たな魅力ある体験メニュー開発・造成研究事業
事業主体	食・農林業体験と農家レストラン・民泊等研究会
事業区分	⑶教育、文化の振興に関する事業（⑹ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	642,088 円（うち支援金：492,000 円）

事 業 内 容

○ 北アルプス山麓新たな魅力ある体験メニュー開発・造成研究事業

当研究会は、これまで一般・学習旅行を誘致することを目的に、北アルプス山麓地域の雄大な自然や地域独自の食文化等を活かした体験メニューの開発等に取り組んできた。

本年度は、旅行業界への売込みを図る準備段階と位置付け。旅行業界では、全国各地から多数寄せられる体験メニュー等観光宣伝資料を情報検索性に優れる電子媒体で保有活用している実態に鑑み、パソコン画面での閲覧に特化した電子広報資料を制作した。

▶ 検討会議及び資料編集会議の開催

1 体験メニュー検討会議（７月３日）

首都圏旅行エージェントより体験事業をプラン採用するにあたっては、旅行会社と体験事業者双方にメリットがあるコンテンツとすることが必要との指摘があったことから、制作資料に掲載する体験メニューの更なる磨き上げを促すことを目的に、体験事業者向けの講演会を開催した。

・講演テーマ：「ウィンウィンの体験づくり」
・講師　　：会長　　宮澤　敏文

2 体験メニュー電子広報資料編集会議（２月３日）

昨年度掘り起こした体験メニューについて、関係事業者、制作委託先と資料内容の検討を行った。

併せて、北アルプス山麓ブランド認定品の体験事業への活用提案として、認定品「凍りもち」を使ったいちご大福を試作し、出席者が食体験する機会を設けた。

3 体験メニュー検討会議（３月 30 日）

３月３日、北アルプス山麓育ち in 首都圏実行委員会にて実施したスイーツコンテストにおいてグランプリ及び準グランプリを受賞した作品を使った体験メニューの造成を図るべく、検討を行った。





電子広報資料

【目標・ねらい】

北アルプス山麓地域への学習旅行等の誘致を促進

① 年々変化するニーズに対応するため北アルプス山麓地域ならではの魅力ある体験メニューを開発・造成し、PR することにより、一般・学習旅行の誘致を行う。

② より訴求性が高く、旅行エージェントの使い勝手に配慮した広報資料を制作する。

事 業 効 果

・ 体験メニュー旅行商品化のキーパーソンである旅行エージェント向けに特化した訴求力のある資料を提供することで、数多ある観光情報に埋没することなく、目に留まり採用される機会が増えることが期待できる。
・ 旅行エージェント向けプロモーション活動において、直接アピールする資料として商談等に有効活用することができるようになる。

※自己評価【B】

旅行エージェントが扱いやすい体験メニュー電子広報資料を制作することができた。今後、北アルプス山麓地域での体験を効果的に売り込むことができる。

また、旅行エージェントが旅行商品を企画する際の視点に立ったコンテンツ磨き上げに取り組むことができた。

今後の取り組み

今回制作した資料を、商談等で有効活用することはもとより、旅行エージェントを北アルプス山麓地域に招聘して、掲載体験メニューの優位性を実際に体験してもらう機会を提供するなどして、一般・学習旅行の更なる誘致につなげていく。